

カテゴリー

調査研究・人材育成、交流促進

活動名称

ニセコ羊蹄エリアにおける「エキノコックス駆除活動」の広域展開

ルート名称

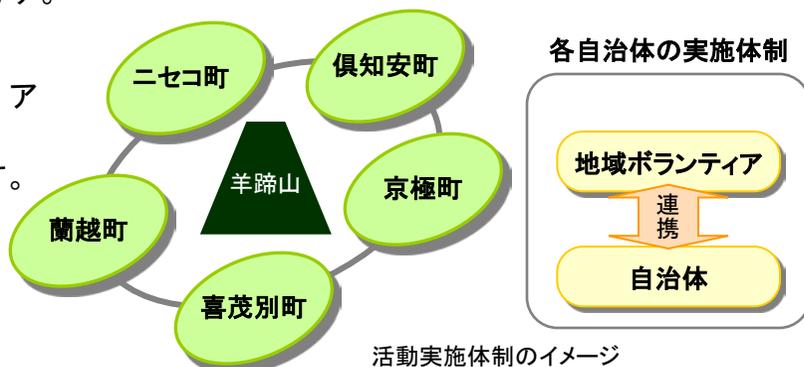
支笏洞爺ニセコルート

①活動概要

北海道の風土病とも言われるエキノコックスの有効な駆除法が開発されました。虫下しが入ったエサ(ベイト)をキツネに食べさせ、キツネの体内に寄生しているエキノコックスの卵を体外に出す方法により、エキノコックスに感染したキツネの進入を防ぐことになります。ベイトは月に1回のペースで5月から11月まで、計7回程度散布し、10月頃にキツネの糞を採取し(約100個)、エキノコックス感染の減少状況を把握しています。平成22年度末現在、倶知安町、京極町、蘭越町、ニセコ町、喜茂別町で展開中です。

②活動の体制

ベイトの散布は、地域ボランティアの方々による協力体制のもと、自治体職員と協働で実施しています。



③苦勞した点や工夫した点

定期的なベイト散布の他にも、エキノコックスに関する公開講座を行うなど、正しい知識を普及・伝承することで感染の予防に心がけるとともに、地域内の環境保全に対する人材育成に寄与している。

④活動の効果

- ・活動の継続によりニセコ羊蹄エリアの近隣町村へも取り組みが波及している。
- ・シーニックバイウェイを通じた人的ネットワークを活用し、各自治体で予算付け(自治体単費)されるなど、環境保全に向けた地域全体での取り組みへと広がっている。

⑤今後の活動予定等

今後は北海道全域でエキノコックスの駆除に取り組む枠組みの構築が必要です。

活動広報チラシ



キャンペーンステッカー



エキノコックス公開講座の様子

ベイト



散布車



様式2 (★指定・候補ルート共通)

ベストシーニックバイウエイズ・プロジェクト2010

ルート名	支笏洞爺ニセコルート	
活動の名称	ニセコ羊蹄エリアにおける「エキノコックス駆除活動」の広域展開	
活動期間	平成17年度～平成22年度（今後も継続予定）	
評価の視点 ※相当すると思われるものに○ (複数選択可)	指 定	①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、 ③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、 ⑤人材育成の充実 ⑥その他シーニックバイウエイ北海道の推進への寄与
	候 補	①活動目的・内容の分かりやすさ、②ルートとしての目標の共有、 ③幅広い参加、連携への可能性（地域住民、各種団体、民間、行政等） ④シーニックバイウエイ北海道の活動として今後の展開可能性（地域資源の発掘・活用、人材の発掘・育成、活動の継続等）
1. アピールポイント		
<p>○環境保全の取組として、羊蹄山麓地域において広域で展開されている （徐々に、取り組む自治体が増加している。現在5町で広域展開中）</p> <p>○ベイト散布による数値的な効果（大幅な感染率の低減）もはっきり現れている</p> <p>○研修会などを通じて、環境に対する意識啓発・人材育成が図られている</p> <p>【取組内容】</p> <p>北海道の風土病とも言われるエキノコックスが、近年有効な駆除法が開発されました。虫下しが入ったエサをキツネに食べさせキツネの体内に寄生しているエキノコックスの卵を体外に出す方法により、エキノコックスに感染したキツネの進入を防ぐこととなります。ベイトは月に1回のペースで5月から11月まで、計7回程度散布し、10月頃にキツネの糞を採取し(約100個)、エキノコックス感染の減少状況を把握しています。平成22年度末現在、倶知安町、京極町、蘭越町、ニセコ町、喜茂別町で展開されています。</p>		
2. 創意工夫、苦労した点		
<p>○活動実績を通じた効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続によりニセコ羊蹄エリアの近隣町村へも取り組みが波及しています。 ・シーニックバイウエイを通じた人的ネットワークを活用し、各自治体で予算付け(自治体単費)されるなど、環境保全に向けた地域全体での取り組みへと広がっています。 <p>○研修会を通じた、地域住民に対する取組の周知と普及啓発活動の継続展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なベイト散布の他にも、エキノコックスに関する公開講座を行うなどして、正しい知識を普及・伝承することで感染の予防に心がけるとともに、地域内の環境保全に対する人材育成に寄与しています。 <p>○今後の課題・展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は北海道全域でエキノコックスの駆除に取り組む枠組みの構築が必要です。 		